

日本維新の会の馬場伸幸
代表は8日の中日「日曜
討論」の見面インタビュー

で、「専守防衛」を守ってい
くなど、敵基地攻撃能力

の保有や大軍拡の容認を
「専守防衛」の範囲内だとす
る「大ウソ」を述べました。

馬場氏は、安保3文書の

改定への評価を質問されて
「戦争はやらない。戦争に
巻き込まれない。『専守防
衛』というものを守ってい
く立場には立っていい
が、『あくまで守り、『よ
うこそ日本もあの一翼を担つ
てこい』とかやってきてい
る』などと述べました。

馬場氏は原発の運
転期間の延長について、検
査をして「OKが出たもの
については運転期間を延長
していく」ということも必要
である」と認識する姿勢を
示しました。

また、馬場氏は原発の運
転期間の延長について、検
査をして「OKが出たもの
については運転期間を延長
していく」ということも必要
である」と認識する姿勢を
示しました。

予算も政策の財源につい
ては、「借金なのか、(増税
などの)負担増なのか。そ
ういう考え方だけではもう
立派行かなくなむ」と述べ
たものの、具体的な提案は
しませんでした。

馬場氏の発言は、年内総
生産(GDP)比2位の軍国
拡で世界第3位の軍事大国
を擁するなど、相手に脅威
を示す政治的サバイル

維新・馬場代表「専守防衛」の大うそ